

## 経営学部で学ぶ感性

〈出題内容・形式・配点〉

内容	形式	配点	試験時間
I 論述	記述	40	120分
II 論述	記述	30	
III 論述	記述	30	
合計		100	

【出題の基本方針】

本入試は経営学部で学ぶうえで期待される「知的好奇心、観察力、洞察力、発見力」を総合的に評価するため、与えられた題材を十分に観察・検討して、自らの主体的な見解をまとめることを中心に、それらを他者に伝える「文章表現力」についても併せて評価することを出題の基本方針とした。

【学習のポイント】

- ・「知的好奇心、観察力、洞察力、発見力」の深度を深めること、与えられた題材（文章や図）の背景や意図を読み解く能力を養うこと。経営学部の入試だからと言って必ずしも「経営や経済」に関する事柄に限るのではなく、日頃の読書を通じて、文学、芸術、地理、歴史、自然科学にわたる幅広い領域について、知的好奇心を持って学習することを心がけたい。
- ・高校の学修内容をベースに社会の出来事に関心を持ち、疑問に感じたことを自らの感性をふまえてじっくりと深く「調べる」もしくは「考える」習慣を持ち、そうした知的好奇心を通じて蓄積された知識を論理的に述べる練習が必要である。
- ・自らの見解を論理的に限られた字数で述べる力である「文章表現力」を培う。自らの考えや解釈を論理的に整理してまとめていく力も必要であるが、高等学校修了までに学ぶ語彙や漢字、および文章の書き方といった基本的な学習も押さえておく必要がある。